

## 2022年(令和4年)度 学校研究助成金 申請書

令和 4 年 ○ 月 ○ 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 沖縄支部  
支部長 上地 弘志 様

学 校 名 \_\_\_\_\_ **学校名**

校 長 名 \_\_\_\_\_ **(氏名)** **公印**

貴支部の学校研究助成金について、下記のとおり申請いたします。

記

### 1. テーマ (50字以内でご記入下さい。)

<b>主体的な学習態度を育てる学習指導の工夫・改善 ～基礎学力の定着と受験対応学力の育成を目指して～</b>	申請 金額	10 万円
--	----------	-------

### 2. 担当者

ふりがな			
氏 名	<b>(氏名)</b>		
所属学校 住所	〒 <b>学校住所</b> Tel: _____ Fax: _____ E-mail: _____		
学級数 ○ 学級	生徒数 ○ 名	教員数 ○ 名	

### 3. 共同者(ある場合、ご記入下さい。)

氏 名	生年月日	所 属

**4.研究・技術・技能・活動の目的・特色(給付申請に至った経緯、位置づけ、他の研究・技術・技能との対比を含めて記入して下さい。)**

本校が所在する地域では、少子高齢化が進み経済・産業の状況も厳しい状況にある。人材育成では大きな期待を担っており、生徒は素直で生徒活動、部活動が盛んで活発である。  
 一方基礎学力の不足や学習意欲に欠ける生徒もみられ、大学進学を断念する生徒や入れる大学を選ぶなど課題となっている。  
 その課題解決のため「教師の積極的アプローチ」「生徒自ら学ぶ姿勢の育成」を二本柱にテーマを設定した。全教科、全教師が校内研修の中で積極的に生徒に関わる中で効果的な研究を進めていきたい。  
 その基礎資料として、一学期に全校生徒を対象に「マークシート」を使い生活全般の実態調査を実施した。二学期は生徒たちの変容の実態を把握したと考えているが「マークシート」の経費が捻出できず研究が進められない状況にある。生徒の実態把握には欠かせない調査であり是非とも助成を頂きたい応募した次第である。

※注 あまりに簡略な説明では選考委員会で指摘されます。

**5. 当支部からの助成金額の費目別内訳 (金額単位：万円)**

費目 (例：消耗品費や講師謝金など)	金額	内訳・算出根拠等
講師謝金	2 万円	5,000円×1名×2時間×(2回)
旅費(※申請額の30%まで)	3	先進校視察費
印刷費	3	研究紀要作成
消耗品費	2	マークシート・インク代・用紙代
合計	10 万円	

注： 1. 下記の経費は助成対象となりません。

- (1) 応募する申請者本人の person 費及び謝金(共同者も含む)
- (2) 汎用性のある3万円以上の備品・機器(例：パソコン、OAソフト<Word, Excel等>、コピー機、タブレット端末)等の購入費  
 ※ 但し、研究に必要とされる備品・機器を購入する場合は、「使用目的」「使用方法」ならびに「効果」を申請書の4. の欄に述べ、5.の欄に購入予定金額を記載する。  
 また、別途見積書(金額(税込)、購入先等)を添付する。
- (3) 組織等の一般管理費(例：懇親会等の飲食費)等
- (4) 学校職員の海外旅費(ただし、国内旅費は助成額の30%までとします。講師の旅費は全額対象内)
- (5) その他研究に直接関係がない講習会費、物品等  
 ※ 助成後、対象外費用を使用した場合や、提出書類(申請書や助成後に提出する成果報告書等)に不備・不正等があった場合は、返金して頂くことがあります。